

新春のごあいさつ



明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、学校適正配置等計画に基づき5つの小学校が閉校、4月に学びの森小学校、東陽小学校の2つの統合小学校が誕生しました。児童たちは新しい環境にも慣れ、東陽サンライズ（東陽小）が全日本小学生女子ソフトボール大会に出場するなど一致団結し、活躍の場を広げています。

また、本町は農業・畜産業が盛んであり、9月には那須和牛の宣伝と消費拡大のため「那須地ビール祭り2016」を初めて開催

し、盛況の内に終了しました。那須は食材の宝庫ですので、今後も積極的に情報発信してまいります。

10月には、自転車によるまちおこしに取り組みむ広島県尾道市とサイクリングパートナー事業に関する協定を締結しました。相互にサイクルツーリズムのPRを強化することで誘客を図るとともに、住民交流を促進していきたいと思えます。

なお、今年8月には「山の日」記念全国大会が本町で開催されることが決定しており、町のイメージアップと地域経済の活性化を進めていきます。

さて、今後10年の新たな将来ビジョンとなる第7次那須町振興計画を平成28年3月に策定しました。「みどり輝き活気と笑顔あふれるまちふるさと那須」を目指すべき町の将来像として掲げ、その実現に向け8つの基本方針を設定し各種事業を実施しています。

特に、本町が直面する大きな課題である人口減少や少子化の進展に的確に対応し、町の魅力・活力が今後とも維持されるよう子育て支援対策、定住（移住）対策に重点的に取り組んでいます。保育園の保育サービスの充実、18歳までの子ども医療費現物給付範囲の県内全域拡大、教育環境の整備充

実、空き家バンク制度の運用、戸建て定住促進住宅の整備など那須町に住みたい、住んで良かったと思えるような効果的な事業を推進していきます。

そのほか、近年の異常気象による集中豪雨や地震、火山噴火など災害発生に備えた防災体制の強化を図ります。さらには、本町は高齢化率が35%を超える超高齢社会であることから、高齢者の自立支援、地域福祉の充実を図ります。

今後とも将来を見据えながら、行政と町民が一体となった持続可能なまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとって幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。さつといたします。

那須町長 高久 勝

